



2022 年 11 月 5 日

I.会議名 :2022 年度第 47 回近畿修猷会総会

II.開催日時:2022 年 11 月 5 日(土)16:25~16:45

III.開催場所:ヴィアーレ大阪

IV.参加者 :会場 来賓 6 名 会場参加 157 名(うち讃猷会 50 名)
オンライン 15 名 合計 178 名

V.議案

報告事項 事業報告

第 1 号議案 決算書類承認の件/監査報告

第 2 号議案 次年度事業運営方針及び収支予算(案)について

近畿修猷会会則第 9 条第 2 項により大竹恵代表世話人が議長となり、事業報告の後、第 1 号から第 2 号議案(添付の議案書ご参照)について大竹議長より提案があった。

第 1 号議案についての提案説明後、石田会計監事世話人より監査報告を行った。賛否を議場に諮ったところ賛成多数で「2021 年度通期決算」及び「2022 年度 10 月 15 日までの決算」が承認された。

第 2 号議案についての説明後採決を行い、賛否を議場に諮ったところ賛成多数で「2023 年度方針」と「2023 年度予算」が承認された。

所定の議事が終了したため 16:45 大竹議長が閉会を宣した。

以上



第47回（2022年度）近畿修猷会総会 議案書

- I. 会議名 : 2022年度 近畿修猷会総会
- II. 開催日時 : 2022年11月5日（土）16:00～
- III. 開催場所 : ヴィアール大阪
- IV. 議案

報告事項 事業報告

第1号議案 決算書類承認の件/監査報告

第2号議案 次年度事業運営方針及び収支予算（案）について

事業報告

本年度も昨年、一昨年に引き続き新型コロナウイルスによる影響を受けましたが、春イベントとして5月21日（土曜日）に3年ぶりに「落語家と行くなわ探検クルーズ」を開催したのを皮切りに、秋イベントは9月3日（土曜日）に「箕面公園散策と箕面温泉」を行いました。直前まで年度世話人である讃猷会の皆さんが計画を練り直すなど開催に向けての準備をしていただいた努力が実ったものと頭が下がる思いです。過去2年間コロナ禍によりイベントの中止を余儀なくされましたガンガン会（平成元年卒）、卒猷会（平成2年卒）の頑張りも思い起こされます。9月24日（土曜日）には22名の参加でゴルフ大会をよみうりゴルフウエストコースで開催しました。

また、今期から実質活動を開始したデジタルしっとう会も「初心者向けスマホ講座」を5月28日（土曜日）と6月4日（土曜日）に行い、スマホの基礎やLINEの基本、シクミネットの基本等の講座を2回にわたり開催いたしました。加えて、直近の10月22日（土曜日）と10月29日（土曜日）には秋バージョンを開催しました。

総会については昨年、一昨年と同様リアルとオンラインによるハイブリッド型総会のみ、新型コロナウイルス感染終息を見据えリアルで懇親会も実施する案、及び新型コロナウイルスが感染拡大した場合のオンラインのみの開催の三つの選択肢を平行して準備しました。

9月13日の第4回臨時世話人会において、今年もリアル会場とオンラインを結んだハイブリッド型総会とすることを最終決定し、また懇親会につきましてはコロナ感染者数の低下傾向や、その他国や地方自治体の施策緩和状況を慎重に検討し、リアルな形での開催を3年ぶりに復活することといたしました。本日も多数の皆さんが、リアルと、各地からオンラインを通じて総会から懇親会まで通しでご参加いただいております。

イベント等の開催

実施日	イベント	内 容	場所	参加者数
5/21(土)	春イベント	落語家と行くなわ探検クルーズ	大阪	37
9/3(土)	秋イベント	箕面公園散策と箕面温泉	箕面	28
9/24(土)		第24回近畿修猷会ゴルフコンペ	よみうりウエスト	22
11/5（土）	総会	第47回近畿修猷会総会（ハイブリッド型）	ヴィアーレ大阪	

各種会議についても新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、全ての常任世話人会・世話人会を会議室とオンラインの併用で開催致しました。

なお、議事録は近畿修猷会 HP に UP しておりますのでご参照下さい。

会議等の開催

会議体	開催日
世話人会	第1回 1/15(土)、第2回 5/7 (金)、第3回 8/26(金)、第4回臨時 9/13 (火)、 第5回 10/1(土)、第6回 10/28(金)
常任世話人会	第1回 3/26(土)

本年度は以下の二つの方針を掲げて本会の運営改革に取り組みました。

1. 事業運営方針と施策

■方針1：新組織の定着による会運営の活性化

昨年総会で大きな組織改革を行いました。この改革を定着させ、会の運営を活性化させることが本年度の大きな課題でした。既に2年前からコンセプトを「世話人会」として組織改革を先取りして運営をして参りました。これを定着させ、世話人や年度世話人が自由に闊達に議論を行い、アイデアを出し合って会員の皆様に喜んで頂けるイベントや総会を企画し充実した会の運営を行うことを目標としました。具体的には、13名の世話人を統括、会計、会員サポート、会議運営、事業運営、ICTの6チームに分け、フラット化したネットワーク型の組織運営を行いました。また、クラブ活動に複数のチームメンバーが参加し、懇親の場も多く設定し融合を、チームには必ず若手世話人を配して次世代に向けての人材育成も意識しました。

近畿修猷会の誇るべき特徴である9つのクラブ活動に、昨年は「でじたるしっとう会」を発足させましたが、今年は「詩吟クラブ」を発足させました。また、本総会でご承認いただければ「ツーリングクラブ」も発足させる予定です。

■方針2：ウィズコロナ時代のイベント、総会開催の新しい手法の確立

昨年、一昨年から総会をリアルとオンラインのハイブリッド型で開催しました。世話会もハイブリッドでの開催が普通の風景になりました。それに対応するために世話人 ICT チームもプロ人材をそろえ強化いたしました。

コロナ禍で得たものの一つがオンラインによる会議、総会それにクラブ活動の交流です。これまで時間的、物理的諸事情でリアルに参加できなかった多くの方に参加の道が開かれました。コロナ禍が終息してもオンラインでの参加は普通の選択肢として普遍化され、より多くの会員がリアル参加の皆さんと楽しさや出会いを享受できるように、デジタルしっとう会を梃に、今後この輪を一層広げていきたいと思います。

第1号議案 決算書類承認の件/監査報告

1. 2021 年度収支決算

昨年の総会でご承認頂いた 10 月 15 日までの決算にそれ以降 12 月末日までの数値を合算した収支の差額は 223 千円のマイナスとなりました。

2021年度近畿修会収支決算書(通期)

項目	前年度実績		予算		2021年度実績		前年対比		予算対比		摘要
	収入	支出	収入金額	支出金額	収入金額	支出金額	前年差	前年比	予算差	予算比	
繰越金	5,264,290	-	4,853,968	-	4,853,968	-	-410,322	92.2%	-	-	
年会費	822,000	-	1,020,000	-	858,000	-	-36,000	104.4%	-162,000	84.1%	287名(ゆうちょ181、しくみ75、イベント時30) 昨年274名
寄付金	297,500	-	400,000	-	278,000	-	-19,500	93.4%	-122,000	69.5%	延べ76名 昨年84名
寄附金(本部総会出席費)	-	-	40,200	-	80,000	-	80,000	-	39,800	199.0%	本部からの助成金
寄付金(総会寄付金)	60,000	-	100,000	-	-	-	-60,000	0.0%	-100,000	0.0%	総会来賓からのお祝い金=本年度なし
総会費	-	-	800,000	-	-	-	0	-	-800,000	0.0%	本年は懇親会中止のため無料とした
雑収入(含利息)	19	-	19	-	12	-	-7	63.2%	-7	63.2%	利息
		250,000				250,000					2020年度より助成金制度実施
総会費用	-	93,968	-	1,150,000	-	51,214	42,754	54.5%	-1,098,786	4.5%	会場室料・設備費・感染防止設備・古希祝い品・総会パンフレット代
広告掲載料	-	100,000	-	10,000	-	11,000	89,000	11.0%	1,000	110.0%	コピー代・名札印刷・宅配便等
印刷代	-	522,903	-	520,000	-	562,375	-39,472	107.5%	42,375	108.1%	本部同窓会総会広告(昨年度は名簿掲載)
運賃郵便料	-	140,621	-	143,000	-	135,910	4,711	96.6%	-7,090	95.0%	春秋新聞の送付料 南和(新聞発送業者)
事務手数料	-	11,009	-	0	-	11,222	-213	101.9%	11,222	-	シクメット事務手数料
通信費	-	160,901	-	160,000	-	162,151	-1,250	100.8%	2,151	101.3%	FAX利用料、ネット使用料、Zoom会議利用料
送金料	-	9,460	-	8,500	-	8,778	682	92.8%	278	-	振込手数料
他総会出席費	-	-	-	20,000	-	-	0	#DIV/0!	-20,000	0.0%	本年は他総会すべて中止またはオンライン開催のため発生せず
当番幹事会議費	-	100,000	-	100,000	-	100,000	0	100.0%	-	100.0%	活動費
春イベント助成金	-	-	-	150,000	-	-	-	-	-	-	イベント中止:2019年度より助成金制度実施
秋イベント助成金	-	-	-	150,000	-	-	-	-	-	-	イベント中止:2019年度より助成金制度実施
クラブ活動助成金	-	135,000	-	135,000	-	135,000	-	-	-	-	イベント中止:2019年度より助成金制度実施
事業費収支差額	-	50,870	-	0	-	-	50,870	-	-	-	新年会中止
事業費収支差額	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	春イベント中止
事業費収支差額	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	秋イベント中止
雑費	-	15,109	-	45,000	-	11,230	3,879	74.3%	-33,770	25.0%	新聞ラベル代、ゴム印製作費
小計	1,179,519	1,589,841	2,360,219	2,591,500	1,216,012	1,438,880					
年度収支差額	-	-410,322	-	-231,281	-	-222,868	187,454	54.3%	8,413	100.2%	
繰越金		4,853,968		4,622,687		4,631,100	-222,868	95.4%	8,413	100.2%	
合計	6,443,809	6,443,809	7,214,187	7,214,187	6,069,980	6,069,980	-373,829	94.2%	-7,214,186	84.1%	

私たち会計幹事は、2021 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までの会計処理について監査した結果適正かつ妥当であることを認めます。

2022 年 1 月 10 日 会計監事世話人 花嶋温子(昭和 55 年卒)

会計監事世話人 石田岳彦(平成 3 年卒)

この要因は新型コロナの感染拡大によるハイブリッド型総会と、イベントの中止に伴う会費納入率の低下によるものです。2019 年度の会費納入者は 341 名でしたが、2021 年度は 286 名(2020 年度は 274 名)に留まり年会費収入は 2019 年度対比約 80% (前年対比 104.3%) となりました。これまで多くの会員の皆様が新年会、春・秋イベント、総会時に会費を納入して頂きましたが、2021 年度については 2020 年度同様、イベントが中止となり総会のリアル出席者が減少したためイベント時の納入会員が大きく減少しました。

同時に寄付金も 2019 年度 443 千円から 2020 年度 297 千円、2021 年度は 278 千円とビフォーコロナの 2019 年比で 62%と落ち込みました。つまり、減少の原因は総会が開催されなかったため、「総会会費・総会寄付金」がゼロだったことと年会費・寄付金収入が減ったことが予算比 1,144 円の大幅な減少となった主たる原因となりました。

支出については、総会費用が大幅に減少したことに加えてイベント中止による助成金支出 300 千円がなくなったため、予算比は 1,152 千円の減少となりました。その結果、2021 年度の収支差額は約 223 千円となり、期末の剰余金は約 4,631 千円となりました。

2. 2022 年度収支決算（10 月 15 日現在）

収入の部では全イベントを実施し昨年比イベント時の会費納入は増加しましたが、下表の通りゆうちょ振込が大きく減少しシクミネットの増加でカバーできず、また寄付人数はほぼ昨年並となりました。年会費納入者数は 9 名減となり 27 千円減、寄付金は 25 千円の減収となりました。一方、同窓会本部から 120 千円、東京修猷会から 50 千円の助成金が給付され、また春、秋イベント戻し金が 161 千円となったため前年対比で約 202 千円のプラスとなりました。

	ゆうちょ銀行振込	シクミネット	イベント時納入	合計
2022 年度	108 名	80 名	28 名	216 名
2021 年度	151 名	67 名	7 名	225 名
2020 年度	148 名	61 名	34 名	243 名
2019 年度	172 名	32 名	67 名	271 名

支出の部では春、秋イベントが開催されイベント助成金が 300 千円、クラブ活動助成金が 1 クラブ増加し 15 千円増となりました。また春秋の新聞及び同封物の印刷費が 102 千円増加しました。これは印刷費高騰と同封物の増加によるものです。また、他地区総会出席費が 20 千円増。その結果収支差額は 340 千円のマイナスとなり、繰越金は約 4,290 千円となりました。今年度はコロナからの復活をスローガンに、春、秋イベントやゴルフ会を実施しました。会費及び寄付金の落ち込みを同窓会本部、東京修猷会からの助成金により一部カバーしたものの、イベント実施による助成金等の支出増加により差額が発生し繰越金が減少しました。10 月 16 日以降は総会の助成金 250 千円及び新聞発送費用支出が予定されていますが、リアルで開催される総会時及び年末までの会費納入の伸びを期待しています。

2022年度実績(10/15迄)

項目	2021年度		2022年度		前年差	前年比	2022年1月1日～2022年10月15日迄 摘 要
	収入	支出	収入金額	支出金額			
繰越金	4,853,968		4,631,100		-222,868	95.4%	
年会費	675,000		648,000		-27,000	96.0%	216人(前年225名) (内:ゆうちょ108人、シクミネット80人、新年会・イベント時28人)
寄付金	180,000		155,000		-25,000	86.1%	45名(前年は47名)
本部からの助成金	80,000		170,200		90,200		本部80,000円・40200円、東京50,000円よりの助成金
(預り金次年度会費)			3,000		3,000		次年度年会費預かり金
雑収入(含利息)	12		4		-8	33.3%	利息
広告掲載料	-	11,000	-	11,000	0	100.0%	同窓会本部広告費用
印刷代	-	562,375	-	664,638	102,263	118.2%	春新聞+秋新聞同封物、振込票、振込票印字サービス代金
運賃郵便料	-	68,427	-	67,562	-865	98.7%	春新聞発送料
事務手数料	-	8,956	-	12,008	3,052		シクミネット事務手数料
通信費	-	110,484	-	123,579	13,095	111.9%	シクミネット使用料、FAX利用料等、サーバー費用等
送金料	-	6,710	-	6,325	-385	94.3%	振込手数料
他総会出席費	-	-	-	20,000	20,000		本部・東京総会への祝儀
当番幹事会議費	-	100,000	-	100,000	0	100.0%	例年と同額
春イベント助成金	-	-	-	150,000	150,000		春イベント助成金
秋イベント助成金	-	-	-	150,000	150,000		秋イベント助成金
クラブ活動助成金	-	135,000	-	150,000	15,000	111.1%	1クラブ15千円
事業費収支差額	-	-	-	47,900	-	0	春イベント開催時の収支差額等
事業費収支差額	-	-	-	112,819	-	0	秋イベント開催時の収支差額等
事業費収支差額	-	-	-	-	0		
雑費	-	7,380	-	22,343	0		新聞発行関係事務用品等
小計	935,012	1,010,332	1,136,923	1,477,455	収支差額=-340,532		
繰越金		4,778,648		4,290,568	-488,080	89.8%	
合計	5,788,980	5,788,980	5,768,023	5,768,023	-20,957		

私たち会計監事世話人は、2022 年 1 月 1 日から 2022 年 10 月 15 日までの会計処理について監査した結果適正かつ妥当であることを認めます。

2022 年 11 月 1 日 会計監事世話人 花嶋温子(昭和 55 年卒)

会計監事世話人 石田岳彦(平成 3 年卒)

第2号議案 次年度事業運営方針及び収支予算（案）について

1. 事業運営方針と施策

■方針1：アフターコロナ時代を見据えた会員の健康増進と親睦を図る運営へ

前期はフラットな組織のネットワークによる新組織の定着については6つの複数メンバーからなるチーム運営を軌道に乗せるなど一定の成果を上げました。

今期はプロ人材や活性化したメンバーを増やすなどさらに磨きをかけていきたいと思います。

また、会員層を分析してみると高齢化とともに30代から40代会員層の薄さ、現役学生へのアプローチ等課題は山積しております。

世話人や年度世話人の自由闊達な議論の中でアフターコロナ時代を見据えた会員の健康増進と親睦を図るため、それらの課題に優先順位をつけて対応して参りたいと思います。

■方針2：アフターコロナ時代のイベント、総会、クラブ活動の新しい運営の取組

ウィズコロナ時代は新しい様々な運営方法を生み出してまいりました。特にSNSの活用は必須となり、でじたるしっとう会がその先兵として活動を開始いたしました。ハイブリッド開催が普通となった総会に続き、クラブ活動やイベントにDXを導入できないか世話人、年度世話人、皆さんで検討していきたいと考えています。

オンラインでの総会、懇親会により参加者の方も増加し、福岡や東京、あるいは海外を含む同窓生とオンラインで結ぶことで多くの企画が考えられると思います。多くのアイデアでコロナ以前よりも充実したイベント・総会等の運営を企画し実施して参りたいと思います。

また、現在11あるクラブ活動も価値観の多様化に歩調を合わせ、ツーリングクラブなど幅広い世代も参加しやすい新クラブを立ち上げていきたいと思っています。

アフターコロナを迎え、活発に活動ができるようクラブ活動助成金も現在の15,000円から20,000円に引き上げたいと存じます。

2. 2023 年度予算（案）

今年度末の剰余金実績を予算マイナス 178 千円の 4,290 千円になると推測して以下の方針により下表の通り予算を編成します。

2023年度予算(案)

項目	2021年度実績		2022年度推定		2023年度予算(案)		前年差	前年比	摘要
	収入	支出	収入金額	支出金額	収入金額	支出金額			
繰越金	4,853,968		4,631,100		4,290,619		-340,481	92.6%	
年会費	858,000	0	840,000		1,020,000		180,000	121.4%	2019年度並：会費納入者340名
寄付金	278,000	0	205,000		450,000		245,000	219.5%	2019年度並
(預り金次年度会費)			3,000						
本部からの助成金	80,000	0	170,200		170,200		0		同窓会本部、東京修猷会より
寄付金(総会祝儀)	0	0	60,000		60,000		0		前年同額
総会会費	0	0	800,000		1,200,000		400,000		収入支出仮置き
雑収入(含利息)	12	0	4		12		8	300.0%	利息
総会助成金	0	250,000		250,000		250,000			総会助成金
総会費用	0	51,214	0	836,471		1,200,000	-363,529	143.5%	収入支出仮置き
広告掲載料	0	11,000	0	11,000		11,000	0	100.0%	前年同額
印刷代	0	562,375	0	664,638		665,000	-362	100.1%	新聞印刷代前年相当額
運賃郵便料	0	135,910	0	137,562		150,000	-12,438	109.0%	新聞郵送料
事務手数料	0	11,222	0	19,008		19,000	8	100.0%	シクミネット事務手数料
通信費	0	162,151	0	160,407		160,000	407	99.7%	シクミネット管理費、HP、FAX通信費等
送金料	0	8,778	0	7,975		8,500	-525	106.6%	送金手数料
他総会出席費	0	0	0	20,000		50,000	-30,000		本部、支部等5総会×1万円
当番幹事会議費	0	100,000	0	100,000		100,000	0	100.0%	年度幹事活動助成金
春イベント助成金		0	0	150,000		150,000	0		イベント助成金
秋イベント助成金		0	0	150,000		150,000	0		イベント助成金
クラブ活動助成金		135,000	0	150,000		240,000	-90,000	160.0%	クラブ活動助成金(12クラブ×20千円)
事業費収支差額1	0	0	47,900	0		0	0		春イベント収支差額
事業費収支差額2	0	0	112,819	0		0	0		秋イベント収支差額
事業費収支差額3	0	0	100,000	0		0	0		総会収支差額
雑費	0	11,230	0	22,343		10,000	12,343	44.8%	
年度収入・支出合計	1,216,012	1,438,880	2,338,923	2,679,404	2,900,212	3,163,500	収支差額＝	-263,288	
年度収支差額		-222,868		-340,481		-263,288	77,193	77.3%	
繰越金		4,631,100		4,290,619		4,027,331	-263,288	93.9%	
合計	6,069,980	6,069,980	6,970,023	6,970,023	7,190,831	7,190,831	220,808	103.2%	

2019 年度の幹事会・総会において剰余金が 5,000 千円を超え今後の剰余金をどうするかを議論し、助成金等を充実させて剰余金が 4,000 千円前後になる迄はできるだけ会員に還元することとしましたが、各種助成金還元等でその方向に進んでおります。現在剰余金は 4,290 千円あり会員還元策である助成金は継続しアフターコロナ対応としてクラブ活動助成金は 5,000 円アップの 20,000 円にしたいと思います。

アフターコロナを見据えて、イベント・総会を実施することができると想定いたします。

- 1) 収入の部はコロナ前の 2019 年の実績とほぼ同程度の会費・寄付金等の収入を想定。
- 2) 支出の部について、春・秋イベント助成金（各 150 千円）総会助成金 250 千円、当番幹事会議費（100 千円）は同額で継続し、クラブ活動助成金は増額継続することとします。
- 3) 収支差額は約 263 千円のマイナスとなり、年度末の剰余金は約 4,027 千円となります。

以上